



たたら純一 活動報告

2期 Vol. 7



純ちゃん

魅力ある宇佐市へ

日頃より後援会への御支援、御理解を頂き誠に有難う御座います。今回、12月議会の一般質問のトップバッターを努めさせて頂きました。まず、医療従事者の皆様には感染拡大防止に努めつつ、御尽力を頂き、深く感謝申し上げます。

この1年を振り返ってみるとコロナ一色の1年だったと思います。市内の感染者は今の所、あまり拡大していませんが宇佐市に於いても感染拡大の波が押し寄せて来ようとそこまで来ています。これまで普通だった事が中々出来なくなり、不自由だと感じる事もありますが皆様方には感染予防に最善の注意を払って頂きたいと思えます。又私自身、更に気を引き締め今年も皆様の声をしっかり届けて参ります。

議会報告

12月定例会は11月30日に開会し、条例の改正や工事請負契約の締結、令和2年度宇佐市一般会計補正予算(第8.9号)の議案など20議案を市長から提案され、全議案を可決致しました。その他詳細は議会報・宇佐市ホームページ掲載を御覧下さい。

活動報告

<新型コロナウイルス感染症対応>

今回の補正額 **721,100千円増額**

累計予算額 **40,307,000千円**

増額分

- ・総合体育館避難所機能整備改修事業・・・224,000千円
- ・中小企業資金融資利子補助事業・・・20,000千円
- ・移動図書館車購入事業・・・8,468千円
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金事業・・・38,000千円

地方創生関連・増額分

- ・企業誘致支援費・・・127,683千円
- ・保育所措置費・・・61,206千円

<中小企業資金融資利子補助事業備事業>

新型コロナウイルス感染症の影響により売り上げ等が減少している市内中小企業に対し、運転資金にかかる融資の利子相当額を補助し、中小企業の事業継続、経営の安定を図る

マレリ九州カップ

卓球呼杯少年野球大会



今回 CKK 杯から「マレリ九州杯」に改名しました。今回で5回目となる主催、協賛のスポーツ大会で少年野球大会を開催し、私は閉会式に出席し、メダル授与のお手伝いをさせて頂きました。

<マレリ九州杯少女バレーボール大会>中止



コロナ禍の影響により、屋内競技は開催できませんでしたがバレーボール協会と前回参加されたチームへボールやネットを贈呈しました。

<交通安全対策> ご安全に!!



白線引き直し

和間地区



交差点表示追加

葛原地区

皆さんから依頼がありました、中央線の白線や見通しの良い交差点の安全対策が土木課の迅速な対応により早期に完了しました。有難う御座いました。

<樹木の伐採>



実施前

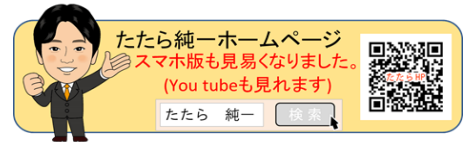


実施後

柳ヶ浦地区にある河西工業ジャパン(株)宇佐工場の従業員からトラックが接触するので切ってほしいと相談を受け早速、土木課に依頼し、翌日には伐採して頂きました。

12月一般質問概要

切れ目の無い子育て支援を望む



問 1. 子ども医療費について

コロナが流行していなかった去年と流行している今年では、子ども医療費がどの様に推移しているか

<答弁> 2月から8月の診療分では医療費と件数はそれぞれ月平均約353万7千円と約2千3百件となり医療費についても約18%の減少、件数も約23%の減少となっている

小児救急センターの受け入れ状況は現在どの様な状況か

<答弁> 昨年と今年では子ども医療費及び受診件数の大幅な減少がみられる

高校生(18)歳までの子ども医療費助成は出来ないか

<答弁> 拡大に伴う財源の確保と併せて国・県や他市の動向も注視しながら慎重に判断していく



問 2. 医療的ケア児の保育支援について

宇佐市では本年4月より、医療的ケア児の受け入れが認定こども園でも出来るようになったがどの様な状況か伺う

<答弁> 本年4月より1名が登園出来るようになり、入園当初はコロナ禍で登園を自粛する日も多かったようですが6月以降は元気で登園している

医療的ケア児の保育支援の課題はあるのか伺う

<答弁> 小・中学校では看護師等の配置などの受け入れ体制が出来てなく、希望しても入学出来ない場合があり、切れ目ない支援体制の整備が課題としてあげられる



問 3. 農業者支援について

今年は米の出来栄も良くないと聞かすがコロナ禍で不況の中、農業者支援はどの様に考えているか

<答弁> 米の作況指数は77、作柄は不良になっており、平成以降の最低の数値である。今後も農業共済組合と連携し、収入保険制度の加入拡大に努めると共に補助事業の導入等で支援していく

県内でも宇佐市は作付け面積が一番多い土地であり、市単独でも小規模農家の収入は保証できないか

<答弁> 個別の収入保障は困難であると考えられる

問 4. 不法投棄について

十年以上放置されている不法投棄はこれまでどの様な対応をしてきたのか

<答弁> 不法投棄の未然防止策としては青パトロール、不法投棄防止の看板配布や監視カメラ掲載による注意喚起を行っています。又、市民から情報提供や通報から状況把握を行い、必要に応じて関係機関に対応要請を行う



【内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供データより推計】

問 5. 宇佐市の人口ビジョンについて

令和2年3月に改訂された、将来計画人口は2025年に52,000人と設定されているが既に本年11月1日に52,902人と計画人口に迫っている事に対しどの様に考えているか

<答弁> 2025年の推計値である5万2千人をクリアできるかどうかについても、かなり厳しい状況にあると考えており、今後の社会や経済のあり方、またひとの動き、流れを注視しながら必要に応じて施策の見直しも検討していく

本年度、移住者の見込みについてはどの様に推測しているか

<答弁> 本年4月から9月迄の上期の移住数は23世帯53人で前年同期と比較すると多少増加している

外国人の定住促進に向けた取り組みは現在どのような状況か伺う

<答弁> 外国人向けバスツアーの実施や地域のイベントに参加しながら伝統文化に触れる機会を創出。外国人住民を対象とした語学教室や文化交流活動を支援する制度を創設し、現在、複数の団体が使用している